

## 《保育所等訪問支援事業について》

## 1、取組の実績

平成26年度	60人	541回	(平成26年2月より開始しました)
平成27年度	19人	159回	
平成28年12月まで	41人	246回	

## 2、平成28年度 訪問支援員

保育士…主任保育士 療育経験のある臨時の保育士（常勤） 前幼稚園園長（常勤）  
 心理士…非常勤3名  
 作業療法士…非常勤1名  
 言語聴覚士…常勤2名 通級指導教室担当経験者

## 3、アンケート実施

回収期間：平成28年8月～9月

配布先：訪問先の全園所（16園所）

対象者数：73（回収率100%）所属長16%、対象児の担任41%、加配43%

## 【結果】

（%）

項目	はい	いいえ	どちらでもない 未回答
① 訪問支援内容は対象児に役立っていますか	96	0	4
② カンファレンスの効果はありますか	96	0	4
③ 訪問記録は理解しやすいですか	93	1	6
④ 訪問記録は活用されていますか	92	1	7

## カンファレンスの効果（自由記述より）

- 対象児に応じた支援ができる ・対応の難しいところをアドバイスがもらえる
- 即、実践できる ・具体的な支援法が分かる ・リアルタイムにアドバイスがもらえる
- 様々な視点からのアプローチが可能になる ・園とは違う視点からの支援を考えられる
- クラス全体の保育力アップにつながる ・周囲の子どもたちへの支援の仕方も見直せる
- 保育者の安心感や自信につながる ・日頃の子どもの様子や支援を振り返ることができる
  - 同一場面を見て、話し合いができる・子どもの成長した部分を確認できる
  - 現在の支援法で良いのかを確認できる

## 4、改善点と今後の課題

○カンファレンスの時間確保・内容の明確化を工夫する。

○保護者連携についての助言がほしいという要望には、コンサルテーションの中で、保護者支援についての視点を重視する。

## 5、近江八幡市における保育所等訪問支援の意義

集団不適應の子ども、保護者が就労していて児童発達支援に通所できない子どもを対象に園所における適切な支援を行う… 対象児が地域の子供達と共に育つ



園所全体の支援能力が向上する

インクルージョンを目指した発達支援、地域支援→訪問支援員には、発達支援の知識・技術に加えて、訪問先の考えやニーズ、集団生活の状況や環境を合わせて支援するアウトリーチ特有の高い専門性が必要